

相模人形芝居

# 下中座 だより



## 表紙写真

一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段より  
熊谷次郎直実(くまがいじろう なおざね)

平家が源氏に敗れる源平合戦のうち、一谷の戦いを題材とした演目の一つ。陣に戻った熊谷は我が子の敵を討つために訪れた敦盛の母・藤の局と、妻・相模に敦盛の最期の様子を語る。

衣装は黒の羽二重の半腰に赤地錦の袴。武士の力強さと哀愁を表現している。

## 人形の横顔

曾我物語 十郎五郎出立の段より

皆春莊公演リポート

橘中学校 相模人形クラブ

「二人禿」 上演への道リポート

神奈川県内3小学校体験学習リポート

座員紹介 数珠つなぎ

下中座紹介

お知らせ 「曾我の傘焼きまつり」

小竹の歳時記

座員募集のお知らせ

編集後記

令和八年 桜花号  
第十四巻

# 人形の顔の横

そがものがたり じゅうろうごろうしゅつたつ だん  
曾我物語〜十郎五郎出立の段

解説・林美禰子 顧問

## 朝日丸

カシラ分類…男の子役  
塗り…白  
機構…無し

うなずき…小猿式  
ちごまげ

髪型…稚児髷

衣装…浅葱綸子金銀切箔子役半腰  
あさぎり/うすきんきりはくこやくはんこ  
しろかたじあやむらさきほかくくりばかま

白固地綾紫暈し括り袴



## 夕日丸

カシラ分類…男の子役

塗り…白

機構…無し

うなずき…小猿式  
ちごまげ

髪型…稚児髷

衣装…鶺鴒綸子金銀切箔子役半腰  
とぎろり/うすきんきりはくこやくはんこ  
しろかたじあやむらさきほかくくりばかま

白固地綾紫暈し括り袴



# 公演レポート

十月十九日

皆春荘公演

菅原伝授手習鑑

寺子屋の段 (奥)

小田原・板橋にある明治の元勳・山縣有朋の別邸「皆春荘」で公演をしました。今回はテレビの撮影が入っていて、カメラがあると思うとやっぱちよつと緊張しました。でも、始まってしまえば不思議と落ち着いて、いつもの気持ちで舞台に立つことができました。

皆春荘は客席が本場に近くて、お客さんの顔や反応がよく見える会場になりました。うなずいてくれたり、反応していただいているのがすぐ伝わってきて、「ちゃんと届いているな」と感じられたのが嬉しかったです。お客さんとの距離が近い分、一緒に舞台を作っている感じがありました。

公演が終わったあとは座談会のような時間があったて、お客さんとゆつくりお話しできました。感想を直接聞けたり、何気ない会話ができたりして、とても楽しかったです。緊張もしましたが、それ以上に温かくて、やってよかったです。思える一日でした。

文・松本日菜子

十一月二十九日

橋中学校

相模人形クラブ

「三人禿」上演への道

11月29日に県立青少年センターで開催された「かながわ伝統文化子ども歳時記」に三味線・大夫の演奏での出演依頼があったのは、一昨年のこと。中学生が普段上演している「怪童丸物語」はCDでの上演のため、小学生で行っている「二人禿(にんかむろ)」を中学生用に振り付けし直し、上演することになりました。月二回の練習と当日までいくつある公演で腕を磨き、当日を目指しました。7月20日、小田原市保護司会大会での上演。短い上演でしたが、



地元の方に喜んでもらえてよかったです。8月20日は、地元の子育てサロンでの上演。人形解説と羽根つきを披露。小さい子たちが楽しみ、中学生もやさしく応じて、心温まるふれあいのひとときになりました。10月9日、中学校の学習発表会での上演。羽根つきや手遊び歌を披露することができました。11月9日は、後継者育成発表会。上演直前まで練習し、最後まで演じることができました。観客からは「二人の息があつて上手だった」と好評で、手応えを感じていました。12日には三味線の鶴澤津賀花さんが来校。美しい三味線の音を聴かせてくださり、本番への意欲が高まりました。

そして当日、県立青少年センターのホワイエは、芝居小屋へもみじ座に大変身。中学生は観客の迎えから大活躍。インタビューには自分の言葉で答えることができ、人形解説も分かりやすく、何より「二人禿」は、三味線、大夫の演奏に乗って、最後まで息を合わせ堂々と演じることができました。4月からの成長はめざましく、がんばりに大きな拍手です。文・早野里美

# 小学校 体験学習 レポート

十月三十一日  
十一月十二日  
一月十三日

横浜市立綱島小学校  
小田原市立下中小学校  
横浜市立日吉台小学校

綱島小学校では、4年生の児童を一堂に会して体育館で行いました。

初めに下中座の歴史についてビデオで学び、プロジェクターや手作りのPOPを使って相模人形芝居の成り立ち、下中座の歩みを詳しく説明していききました。人形体験では、姫の人形を使って仕組みや色々な仕草を実演してみせると度々歓声や笑い声が上がりました。



下中小は2クラス合同、日吉台小は1クラスの少人数で行われました。下中小では小竹地区の成り立ちを解説している時も、さすが地元、皆さんよく知っていて楽しく学んで頂きました。人形体験では、カシラの仕組みに興味津々で、展示してある解説用のカシラ(塗り)がなく半分

別れている)を手にとり取ってみんなでの様子を見て楽しんでいました。



日吉台小では、相模人形芝居や下中座について児童が事前に調べ、教室の壁面に貼りだされていました。カシラに使う原木や、下中座の稽古の様子まで詳細にまとめられていて深い感銘を受けました。黒衣の頭巾を被つても見えているのかという質問を事前に頂いていたので、実際に児童に被つてもらおうと、「凄い！見える！」と意外なところで大盛り上がりでした。

最後には児童の皆さんで人形の羽根つきをしてもらいました。どの小学校でも皆「やりたい！やりたい！」と積極的で、メンバーを入れ替えて何度も繰り返し体験してもらいました。



授業の終わりには質疑応答を行いました。どの小学校もとても熱心に聞いてくれて、私たちの回答にも熱が入りました。

文・山木良介

## 座員 数珠つなぎ 座員紹介



小池洋子さんが紹介する人は



金窓裕太郎さん

◀ 人形遣いから下中座の全てに精通した縁の下の力持ち的存在の裕太郎さん。

◎ 舞台の前後は、真剣な表情ではなく愛くるしい表情でも座員を惹き付ける。

今回ご紹介する座員は、金窓裕太郎さんです。座員歴20年の若手の遣い手です。誰れにでも優しい金ちゃん心配りの出来る人で、みんなから慕われています。

中学生の時に相模人形クラブに入部。怪童丸の主遣いなど熱心に練習に励んでいましたが、とてもシャイなので、3年間で辞めてしまうのではないかと私は不安に思っていました。しかし高校生になり下中座に入座。人形浄瑠璃への情熱は失われていなかった。私達の後継者育成という地道な活動が報われたと心から嬉しく思ったものです。その後は、いろいろな立役を遣い、確実に力をつけてきました。今後の目標は、女形の基本となる足遣いから学び、いずれは女形の主遣いに挑戦したいと思っているそうです。

人形を通して得た沢山の事の一つ一つが、自分にとっては掛け替えのない宝物だと話してくれました。

会社の良き先輩の方々や大切な奥さんの恵さんとの生活に、感謝の気持ちを忘れずにいて下さい。

健康に十分気をつけて、これからも沢山の事を学び、経験を重ねて自分の心の中の引き出しをいっぱいにして、将来の下中座を支えていって下さいね。

## 相模人形芝居下中座について

小田原市小竹地区に江戸時代から小竹の人形として親しまれてきた、三人遣いの人形芝居の一座です。国の重要無形民俗文化財に指定されています。

現在の座員は各地から集まり、年齢層は十代から八十代と幅広く、男女もほぼ半々。学校や職種もさまざまな集団で、練習はまじめに集中する一方、ミーティングは和気あいあいとしていて、めりはりのある魅力的な集まりです。

稽古は、原則として月二回土曜日、夏は涼しい「橘タウンセンターこゆるぎ」で、それ以外は「小竹公民館」で行っています。自慢は美しい人形たち。古典の継承を大切にし、加えて新作の上演も積極的にを行っています。また、後継者育成にも力を入れています。



入れ、地元の小、中、高校のクラブで指導し、そこから座員になっていく人も少なくありません。小学校などへの体験学習にも出かけています。一つの芝居をみんなで作る上げる楽しさを味わいながら、皆さんにより素敵な芝居をお届けできるよう、これからも励んでいきます。



文・早野里美

## 小竹の歳時記 — 春 —

### ツバメの飛来

四月初旬になると、毎年忘れずにツバメがやってきます。庭先を勢いよく飛び回り、電線(家への引き込み線)に止まる姿を見ると、「今年もよく来たね。」と声をかけたくなるのですが、少し悩ましい季節の到来でもあります。

子どもの頃の家は、春夏は縁側が開放つてあったので、十畳間の天井に巣を作ることもありました。雛がかえると畳の上に新聞紙を敷いて雛の糞を受け止め、何度も取り替えました。時には、はりを伝わつてアオダイショウが卵を狙いに来ることも。住宅が変わつてからは、車庫や納屋の軒先に巣を作るようになりました。車が泥だらけになつたり、野良猫が車の屋根を踏み台にして巣を落としてしまつたりすることもありました。それからは、ツバメが巣を作り始めると、車庫を明け渡して、雛の巣立ちまで見守っています。

文・岸敏江

5月の稽古日に  
稽古場の小竹公民館に迷い込んだ  
ツバメのカップル



## 座員募集のお知らせ

個性豊かで気持ちの良い仲間と共に1つの舞台を作り上げていく楽しさを、あなたも味わってみませんか?何の制限もありません。思い立ったら是非下記までご連絡を!お待ちしております。また、公演やワークショップなどのご依頼も承っています。

連絡先メールアドレス：  
newsletter@shimonaka-za.jp



新春の小竹公演を終えた後、円陣を組んだ際の一コマ

## お知らせ

「第67回  
曾我の傘焼きまつり」ご案内

日時：令和8年5月16日(土)  
会場：下曾我梅の里センター  
ふれあいの郷

(御殿場線下曾我駅下車)

入場料：無料

内容：児童劇、人形浄瑠璃公演  
講演、たいまつ行列  
傘焼き祈願など

※下中座の『曾我物語』は夕方から「ふれあいの郷」で上演予定です。

※開会式をはじめ、他の催しは、午後から「梅の里センター」で開催予定です。

3月1日現在、その他の詳細は未定です。決定次第ホームページなどでお知らせします。小さな会場ですので、本場に近くでご覧いただけます。

お問い合わせ：

曾我兄弟遺跡保存会

傘焼きまつり実行委員会

TEL 090-7633-0773  
(久保守)



## 編集・後・記

今回の相模人形芝居大会では、人形教室を担当しました。

満員のお客様の反応が素晴らしいです。とても楽しかったです。特に裸の男の人形が「中の仕組みと動きが良くわかる」と好評でした。(日)

桜の季節ですね。美しく美しい桜の花が好きです。散る桜残る桜も散る桜、良寛の句です。満開の桜も散り残っている桜もいつかは散るという意味で、命の儚さと今を精一杯生きる大切さを論じた教えます。昨年は三春の滝桜を見に行きました。今年はこの桜に会えるかな。(洋)

「人虎」で大きく成長した中学生。三月二十八日には文楽の桐竹勘十郎さんのワークショップに参加。一年間の取り組みへの褒美になつたことでしょうか。(さ)

出張授業に行く、後日小学校からお礼のお手紙や可愛いイラストが届くことがあります。そういえば自分も小学生の頃よく書いていたなあ、と昔を思い出してホッコリしました。(りよう)

大学が終わり、自由時間が増えてきました。最後の長期休みと思いつつ羽を伸ばしています。新社会人頑張ります!(巻)

## 相模人形芝居 下中座だより

令和8年 桜花号(通算第14号)  
令和8年4月1日発行

発行・編集人：佐藤 光昭(下中座 座長)  
ホームページ <http://www.shimonaka-za.jp>  
メールアドレス [newsletter@shimonaka-za.jp](mailto:newsletter@shimonaka-za.jp)  
活動拠点：神奈川県小田原市小竹

デザイン：上條 祐嗣